

クリーベジ法（ドラフト内で作業を行って下さい）

1. 合成後のカラムを、遠心用チューブにしっかりとセットする。
このとき穴あき蓋(自作)を堅く閉め、チューブ内を機密状にする。

2. 1.3~2.0mlのTFAクリーベジカクテル(ReagentK)を加える。
(ゴム手袋使用)

Reagent K :82.5%TFA,5%Water,5%Phenol,5%Thioanisole,
(要冷蔵) 2.5%Ethanedithiol

3. ピストンを取り付け、30分ごとに左右にゆっくり手で攪拌しながら
2~8時間おく。(ゲル状が液状になるまで攪拌する。)

4. 穴あき蓋を少し緩め、ピストンでカラム内液を遠心用チューブに落とす。

5. ピストンを取り除き、カラムにエーテルを2ml程度加えレジンを洗浄し、
遠心用チューブに落とす。

6. カラムをはずし、穴のあいていない蓋に交換する。

7. 遠心用チューブに、9分程度冷エーテルを加え蓋を閉め攪拌する。

8. 3000rpm, 5minで遠心し、析出したペプチドの沈殿を残し上清を除く。

9. ペプチドを攪拌しながら、7~8を3回繰り返す。

10. ドラフト内で乾燥させる。(共同実験室での作業は、ここまです。)

11. 必要に応じて凍結乾燥を行う。(共同実験室で行うことも可能。別途使用料がかかります。注:溶媒は水のみ)

